



高瀬小学校だより「チャレンジ」

令和2年6月26日 第17号 発行責任者：郡山市立高瀬小学校長 石井 研也

< 6月の全校集会を行いました >

6月24日に、全校集会を放送で行いました。4年生の代表児童4名が、国語の教科書にある「白いぼうし」の音読発表を行いました。聞き取りやすい速さで、内容がしっかり伝わるように読みました。特に会話文の読み方を工夫し、今までの練習の成果が伝わる素晴らしい発表でした。終了後、各学級では、子どもたちが音読発表の感想をプリントにまとめました。



本校では、表現力を高めるために、授業はもちろんですが、日常の学校生活の中で表現する場を設けています。これからもあらゆる機会を得とおして、子どもたちの表現力を高める指導を続けてまいります。

次に、集会で、全校児童にした話を紹介します。

「あいさつ」「返事」「くつそろえ」

広島県に〇〇高校という高校があります。その高校にサッカー部があるのですが、そのサッカー部は決して強いチームではありませんでした。でも、一生懸命に練習をし、練習のほかにあることを徹底して行いました。その結果、広島県の大会で優勝し、全国大会でも優勝することができました。では、チームを強くするために、サッカーの練習のほかに徹底して行っていたことは、何だと思いませんか？

それは、「あいさつ」「返事」「くつそろえ」の三つです。皆さん、聞いたことはありませんか？

そうです。今年度、高瀬小学校のみんなでがんばること、みんなでチャレンジすることですね。

〇〇高校サッカー部では、「よい生活習慣が心を磨くこと、よい選手になることにつながる」と信じて、「あいさつ」「返事」「くつそろえ」の三つことを徹底的にできるようにがんばったそうです。その結果、全国大会でも優勝できました。

校長先生は、サッカーのようなスポーツも、強くなるためには、体力や技術だけでなく、心を磨くことも大切なんだなと思いました。

「凡事徹底」「凡事一流」当たり前を積み重ねた時に特別になる。今年度、「あいさつ」「返事」「くつそろえ」を年間の指導重点事項の一つにして教育活動を行っています。

続けて「あいさつ」についての話をしました。

「心をこめたあいさつにチャレンジ」

今日は、その中の「あいさつ」についてお話をします。これから皆さんに、「おはようございます」のあいさつをします。挨拶されていい気分になるのはどちらですか？

1番「おはようございます」2番「おはようございます」さあ、どちらですか？

きっと2番だったと思います。

2番の「おはようございます」は、高瀬小学校の皆さんの顔を思い浮かべながら、心を込めてあいさつをしました。心を込めた挨拶をされると、いい気分になりますね。笑顔になりますね。心が温かくなりますよね。心をこめた挨拶は、相手の心に届きます。

皆さん、これから「心をこめたあいさつ」にチャレンジしていきましょう。

心をこめたあいさつ に チャレンジ

あ かるく あいての目をみて
い つでも げんきに
さ きに (じぶんからすすんで)
つ づける

そのため
のポイント
として、右の
カードにつ
いて話をし
ました。

皆さん、心をこめたあいさつにチャレンジし、高瀬小学校を、心をこめた挨拶が響き合い、一人一人の心に素敵な花を咲かせることができる学校にしましょう。

校長先生も 先生方も 心をこめたあいさつをしていきますよ。



次の日、早速、心をこめたあいさつにチャレンジする姿や下駄箱の靴を進んでそろえる姿が見られました。

保護者の皆様におかれましては、ご家庭でも「あいさつ」「返事」「くつそろえ」凡事徹底へのご指導・ご協力をよろしくお願い申し上げます。